

9 ぶどう郷発展のヒミツは…中学生にあり!

勝沼の中学生はぶどう郷の文化を支えるべく、ブドウに関するいろいろなことを学んでいるよ!

- ◆ 5月頃にタネ無しブドウを生産するための作業(ジベレリン処理)を全員体験しているよ。
- ◆ 10月に行われる「ぶどうまつり」では、山に鳥居のかたちを灯すため、たいまつをもって聖火リレーをするよ。



ジベレリン処理体験 聖火リレー



- ◆ 明治時代にできた宮光園が全国に先がけて「ブドウ遊覧」をはじめたんだ。
- ◆ 昭和33年(いまから約60年前)には国道20号の新笹子トンネルも開通し、「観光ブドウ園」がたたくさんできたのさ。
- ◆ 勝沼の観光はいつでもブドウが中心だね!

ブドウは食べるだけでなく、「見て」楽しむものでもあるんだ。

観光地「勝沼」のヒミツは…ブドウにあり!



明治36年(いまから約115年前)に中央本線が開通し、甲府盆地の入口にある勝沼にも大正2年(いまから約105年前)に駅ができたよ。

◆ たくさんのブドウやブドウが駅から全国に出荷されたんだ。

◆ ブドウやブドウの産地として勝沼の名前が全国に広まったのは鉄道のおかげだね!

◆ 昔の私たちはこうした斜面の高低差を上手に使って、水路を作ったんだ。

◆ 地面が乾きやすい勝沼では、水路は地域の生活に欠かせないものだったんだよ。

◆ 今もたくさんの水路が残っているね! 探してみてね!

◆ 甘いブドウを作るには、「たくさんの日光」と「昼夜の温度差」の2つが大切!

◆ 勝沼では川や山のまわりの斜面に畑がいっぱいある!

◆ 水路は地域の生活に欠かせないものだったんだよ。

◆ 地面が乾きやすい勝沼では、水路は地域の生活に欠かせないものだったんだよ。

◆ 今もたくさんの水路が残っているね! 探してみてね!

◆ 甘いブドウを作るには、「たくさんの日光」と「昼夜の温度差」の2つが大切!

◆ 勝沼では川や山のまわりの斜面に畑がいっぱいある!



お問い合わせ:
甲州市教育委員会文化財課
TEL:0553-32-5076

編集: 甲州市教育委員会文化財課
山梨大学生命環境学部観光まちづくり研究室
イラスト: 岩田美耶 (山梨大学)
本ブックは、甲州市教育委員会文化財課と協議のもと、岩田美耶、高橋瑞季、吉江春香、菊地淑人(山梨大学)が編集を行った。
ミニブック配布先
宮光園 (甲州市勝沼町下岩崎 1741) / ぶどうの国文化館 (勝沼町下岩崎 1034) / 旧田中銀行博物館 (勝沼町勝沼 3130-1)



◆ 昔の私たちはこうした斜面の高低差を上手に使って、水路を作ったんだ。

◆ 地面が乾きやすい勝沼では、水路は地域の生活に欠かせないものだったんだよ。

◆ 今もたくさんの水路が残っているね! 探してみてね!

◆ 甘いブドウを作るには、「たくさんの日光」と「昼夜の温度差」の2つが大切!

◆ 勝沼では川や山のまわりの斜面に畑がいっぱいある!



ぶどう郷ができる前に眠りについたドラゴン。20XX年、ついに眠りから目覚めてしまった。ドラゴンを再び眠らせるべく、ぶどう郷にまつわる5つのヒミツを解き明かせよう!

KATSUNUMA
ぶどう郷の
ヒミツを
解き明かせ



◆ 昔の私たちはこうした斜面の高低差を上手に使って、水路を作ったんだ。

◆ 地面が乾きやすい勝沼では、水路は地域の生活に欠かせないものだったんだよ。

◆ 今もたくさんの水路が残っているね! 探してみてね!

◆ 甘いブドウを作るには、「たくさんの日光」と「昼夜の温度差」の2つが大切!

◆ 勝沼では川や山のまわりの斜面に畑がいっぱいある!